

資源循環

2025年度は、サステナビリティに配慮した自社ブランド商品として、アップサイクル商品の開発を進めました。

サステナビリティに配慮した 自社ブランド商品

自社ブランド商品への「賞味期限の年月表記」「バイオマス・水性インキの使用」「有機・特別栽培」「紙製容器の使用」など、サステナビリティに配慮した商品開発を進めています。

また、自社ブランド商品の開発段階において、稟議書や商品仕様書に「環境配慮包材（商品パッケージ）」に関するチェック欄を設け、「プラスチック資源循環促進法」への対応とともに、2030年までにすべての自社ブランド商品におけるサステナビリティへの配慮を実現します。



有機ジャム

食の安全・安心が注目されているなか、原料にこだわった商品です。

容器の再利用と ゴミの減量化

瓶詰容器につめかえられる、環境負荷を抑えた商品です。



アップサイクル商品

アップサイクルとは、本来捨てられる素材に新たな価値を加え、別の製品として生まれ変わらせる取組みです。リサイクルよりも高い付加価値を生み、資源を有効に活用できることが特長です。当社では、規格外品や廃棄予定素材を活かしたアップサイクル商品を開発し、環境負荷の軽減に取り組んでいます。



兵庫県産 あまクイーンいちごジャム

コープこうべ様と連携して開発した、規格外・余剰原料のいちごを活用したジャムです。



カンピー 国産丸みかん

気候変動の影響により小玉となった規格外の国産みかんを活用した商品です。



カンピー 国産 まるごと椎茸

栽培過程で生じる規格外のしいたけを乾燥させた商品です。

HPの商品情報ページに【環境配慮ポイント】の項目を追加し、商品ごとの環境にやさしい取組みを発信しています。